

## 公益社団法人日本技術士会 CPD 行事 報告書

|      |                                                                                                                                           |           |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| 開始日時 | 2025 年 1 月 14 日（火）                                                                                                                        | 18 時 00 分 |
| 終了日時 | 2025 年 1 月 14 日（火）                                                                                                                        | 19 時 30 分 |
| 名称   | 第 144 回専門知識向上講演会 千葉県内技術士会 4 団体合同勉強会                                                                                                       |           |
| 主催者  | 千葉県庁及び公益社団法人日本技術士会 千葉県支部                                                                                                                  |           |
| 開催場所 | ホテルプラザ菜の花及び ZOOM によるハイブリッド講演                                                                                                              |           |
| 行事内容 | 講演 1：「成田空港の更なる機能強化と『新しい成田空港構想』について」<br>成田国際空港(株)空港計画部 空港計画グループマネージャー 三浦佑輔様<br>講演 2：「一宮川流域における流域治水について」<br>千葉県県土整備部河川整備課 一宮流域浸水対策班 竹内康彦主査様 |           |
| 参加人数 | 60 名（会場 12 名、ZOOM 48 名）内修習 2 名                                                                                                            |           |

1 月 14 日（火）18:00～19:30 に千葉県庁技術士会が事務局となり、千葉県内技術士会 4 団体の合同勉強会 CPD 講演会が「ホテルプラザ菜の花」と Zoom によるハイブリッドにて開催されました。

講演題目は 2 つで、講演 1：「成田空港の更なる機能強化と『新しい成田空港構想』について」を成田国際空港(株)空港計画部 空港計画グループマネージャーの三浦佑輔様が、講演 2：「一宮川流域における流域治水について」を千葉県県土整備部河川整備課 一宮流域浸水対策班 竹内康彦主査様が講師をされ、60 名（会場 12 名、ZOOM 48 名）が参加しました。

講演 1 は、首都圏空港の機能強化を図るため、限界に近い羽田国際空港（約 49 万回）と年間発着容量を 30 万回から 50 万回に向けた成田空港の整備の課題についてのご講演でした。長期的な整備計画として、旅客ターミナルを再構築し、集約型のワンターミナルへの取り組みや現在分散している貨物取扱地区の集約化、そして空港アクセス（鉄道、道路網の再編、新規 IC 構想など）の改善、さらに成田空港を核とした地域共生・まちづくりの推進など、長期的な整備構想・スケジュールについて、貴重なご講演をいただきました。我が国航空の国際競争力を確保するためには、国際線の基幹空港である成田空港を東アジアのハブ空港として確立する施設整備が国としても不可欠と改めて認識しました。

講演 2 は、平成以降として、5 度の浸水被害に見舞われた茂原市や一宮町を中心とする二級河川一宮川の流域治水の取り組みについてのご講演でした。

流域治水を図るため、河道掘削、河道拡幅、さらに河道断面を確保するための護岸法立て工事の整備の進捗状況、さらにシミュレーションモデルを活用した整備効果の検証など、今後の浸水対策のあり方に係る長期的な取り組みについてのご講演でした。

今回の 2 講演は、国際競争力の推進と地域の安全とまちづくりに関わる千葉県が抱える課題と長期的な整備の方向について大変わかりやすくご講演いただきました。ここにご講演いただきました講師様に感謝申し上げます。

以上